

平成30年度介護報酬改定について ～通所リハビリテーションのポイント～

ゆきよしクリニック

短時間通所リハビリテーション

相談員 野瀬山 清実

平成30年度介護報酬改定の考え方

地域包括ケア
システムの推進

自立支援・重度化
防止に質する質の
高い介護サービス

4つの
基本的な
考え方

多様な人材確保と
生産性の向上

介護サービスの
適正化

通所リハビリテーションの改定点

- ① 医師の指示の明確化
- ② リハビリテーション会議への参加方法の見直し
- ③ リハビリテーション計画書等のデータ提出等に対する評価
- ④ 介護予防通所リハビリテーションにおけるリハビリテーションマネジメント加算の創設
- ⑤ 社会参加支援加算の要件の明確化
- ⑥ 介護予防通所リハビリテーションにおける生活行為向上リハビリテーション実施加算の創設
- ⑦ 栄養改善の取り組みの推進
- ⑧ 3時間以上のサービス提供に係る基本報酬等の見直し
- ⑨ 短時間リハビリテーション実施時の要件緩和
- ⑩ 医療と介護におけるリハビリテーション計画の様式の見直し
- ⑪ 介護医療院が提供する通所リハビリテーション
- ⑫ 介護職員処遇改善加算の見直し

基本報酬・加算一覧(要支援)

これまで

基本報酬

要支援1 1812単位/月

要支援2 3715単位/月

リハビリテーションマネジメント加算

なし

生活行為向上リハビリテーション

実施加算

なし

これから

基本報酬

要支援1 1712単位/月

要支援2 3615単位/月

リハビリテーションマネジメント加算

330単位/月

生活行為向上リハビリテーション

実施加算

900単位/月(3月以内)

450単位/月(6月以内)

基本報酬・加算一覧(要介護)

これまで

リハビリテーションマネジメント加算

- I 230単位/月
- II 1020単位/月(6月以内)
700単位/月(6月以上)

生活行為向上リハビリテーション加算

- 2000単位/月(3月以内)
- 1000単位/月(6月以内)



これから

リハビリテーションマネジメント加算

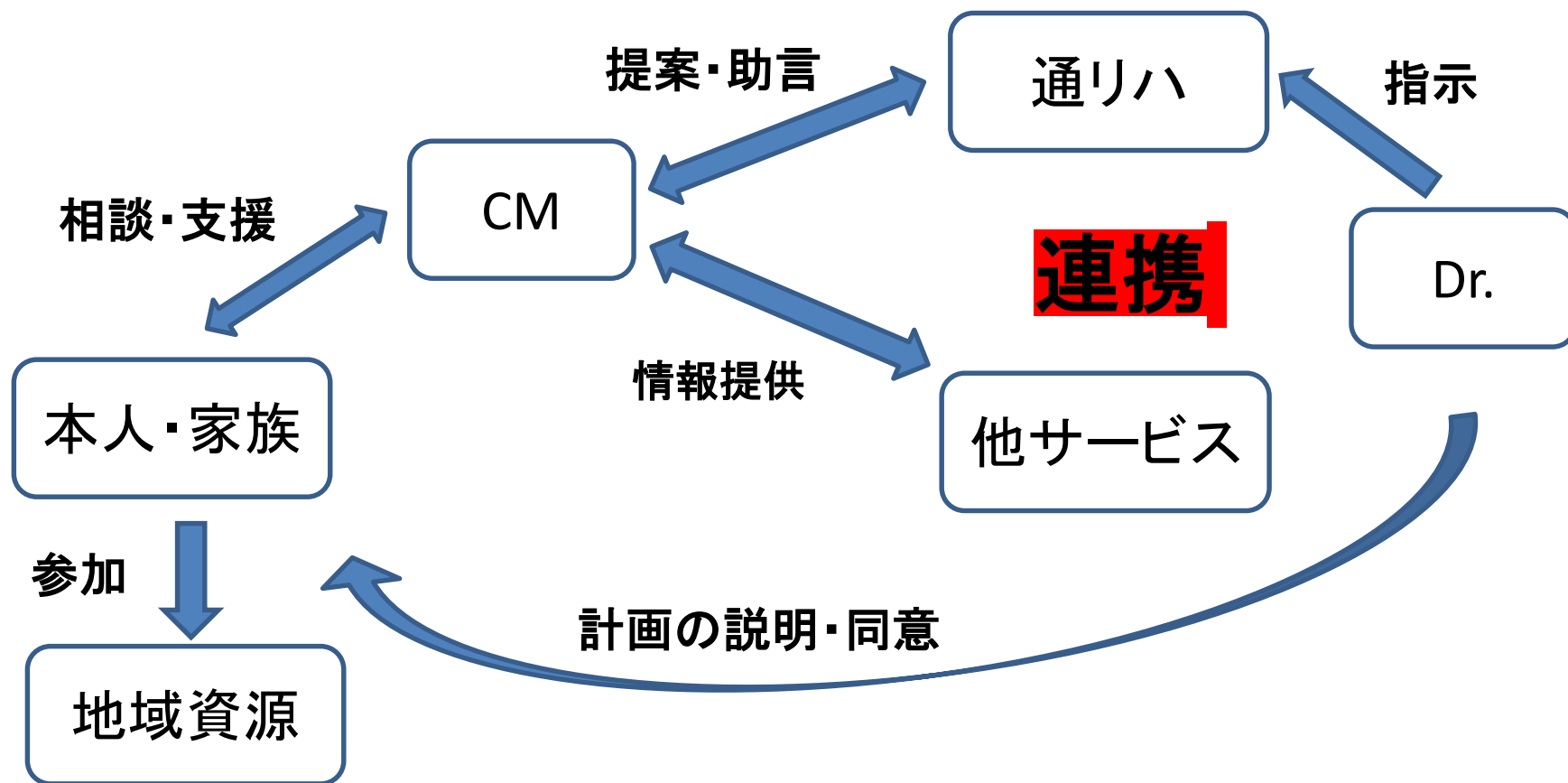
- I **330**単位/月
- II 850単位/月(6月以内)
530単位/月(6月以上)
- III **1120**単位/月(6月以内)
800単位/月(6月以上)
- IV **1220**単位/月(6月以内)
900単位/月(6月以上)

生活行為向上リハビリテーション加算

- 2000単位/月(3月以内)
- 1000単位/月(6月以内)

リハビリテーションマネジメント加算とは？

「利用者の日常生活における活動の質の向上」を図るため、多職種で連携し、定期的な評価・計画の見直しの下、リハビリテーションの提供を行っていくもの



ポイント①

指定通所リハビリテーション事業所の**医師**が
PT・OT・STに詳細な指示を出すこと



必須

通所リハの目的



リハ開始前または実施中の留意事項

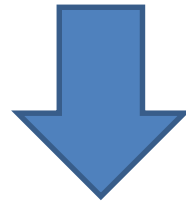
リハの中止基準

利用者に対する負荷等

いずれか1つ以上

ポイント②

定期的な評価、計画の見直し



CMを通じて

他事業所への情報提供

日常生活の留意点、支援方法の工夫など

ポイント③

リハビリテーション会議の実施

- ・リハビリテーション計画書の作成
- ・本人、家族へのリハビリテーション計画の**説明と同意**

PT・OT・ST

Dr.

リハマネ加算Ⅱ
850単位/月

リハマネ加算Ⅲ
1120単位/月

現在の取り組み

活動・参加へアプローチ

要支援中心

卒業を目指す = 回転効率(売上)UP!

しかし...



自律した生活ができるよう、卒業を目指しましょう！



ここを卒業したら、また悪くなるんじゃ...。卒業は不安。

相互理解(目標共有)の不足

今後の取り組み

卒業支援

リハマネ加算算定

継続



利用者の立場に立ち、

お互いの考え・目標共有をより大切に！！



「してもらおう」リハから「していく」リハへ



**1人1人の目標を明確化し、ステップアップする
リハビリを行っていきます！**

5月中旬より午後通所リハ 新体制スタート！！

(1) 今までのメニュー

個別
リハ



物理
療法

※今までのメニューか
新しいメニューを選ぶ

(2) 新しいメニュー

個別
リハ



物理
療法



NEW

運動
メニュー

新体制について

- ・主体的に運動を行う
- ・運動メニューを行うことで個別リハでは日常生活に必要な応用的な練習が行える

